

ぶらり元町まち歩き お勧めはこうべまちづくり会館での一休み

元町本通は、神戸を代表する商店街の一つで大丸前から西元町まで東西約 3 キロメートルにわたってお店が連なっています。東の方では旧居留地や南京町、西の方では最近特に若者に人気のハーバーランド等のカジュアルスポットにも近く、年間を通して多くの人々が訪れています。その元町本通の中ほどに「神戸市立こうべまちづくり会館」があります。まだ、おたずねいただいていない皆様方のために「まちづくり会館」を紙上でご案内します。また「まちづくり会館」の管理運営を行っている「こうべまちづくりセンター」の事業についても簡単にご紹介しましょう。

★こうべまちづくり会館のご案内

こうべまちづくり会館は、正面入り口の赤い柱が目印です。延べ床面積 1971 m²と少し小振りですが、元町に相応しくなかなかファッショナブルでお洒落なビルディングです。1 階のロビーはオープンギャラリーになっています。昔なつかしい神戸のまちを写した写真や各地域でのまちづくりの様子をご紹介するパネルや模型等、展示する内容は毎月変わります。このほか、各区役所が発行している広報紙（区民版）やいろいろな団体のパンフレット、セミナー・各種講座等催しのご案内を始め、住宅・宅地情報や神戸観光マップ等ちょっと便利なお知らせを多数そろえています。腰をかけて一休みのできるコーナーもあります。ご休憩や待ち合わせにもご利用いただけます。元町にお出かけのときは、ぶらりとお立ち寄り下さい。

★こうべまちづくりセンターの事業

神戸市立こうべまちづくり会館の管理運営は財団法人神戸市都市整備公社こうべまちづくりセンターが行っています。まちづくりセンターは、まちづくり会館の管理運営だけでなく、次のような事業も行い、住民主体のまちづくりの支援に取り組んでいます。

◎こうべすまい・まちづくり人材センター事業

まちづくり専門家（アドバイザー・コンサルタント）派遣やまちづくり活動の助成を行っています。

◎まちづくり人材の育成

まちづくりセミナーや市民安全まちづくり大学の開催。

◎まちづくり情報の整備・提供

まちづくり情報の収集発信。

平成 10 年 12 月からは、ホームページをスタートしています（URL：上記）。

◎まちづくりに関する調査・研究

大学・研究機関等と協力してまちづくりに関する調査研究に取り組んでいます。

◎その他の支援

まち歩き、ワークショップ等地域のまちづくりイベントの企画運営にスタッフとして協力したり、情報の提供を行っています。



地元まちづくり協議会と協力して行った、ウォークラリー

区安全まちづくり計画が完成しました



区安全まちづくり計画って何ですか？

市民の皆さん一人ひとりが安心して暮らせる安全なまちづくりをすすめていくためには、行政の中でもっとも身近な区を中心とした取り組みが大切です。

この「区安全まちづくり計画」は各区ごとに安全上の課題や目標、具体的な施策等を図やグラフを用いながら、分かりやすくまとめたものです。



計画はどんな内容ですか？

計画は約40ページのA4版の冊子で区により若干構成は異なりますが、主に次の5つの内容となっています。

- (1) 区の概要、危険、安全のための資源等
- (2) 区の安全まちづくりの課題と目標
- (3) 区における安全まちづくりの推進
- (4) 地域における安全まちづくりの推進
- (5) 非常時、災害時の対応



特に、日常時の地域における安全まちづくりへの取り組み事例やそれらを支援する市の制度の紹介、非常時、災害時等いざという時にとるべき行動などを記載しており、地域の皆様に安全まちづくりの参考資料として使っていただけるよう配慮しました。



計画はどこで読めますか？

こうべまちづくりセンターをはじめ、各区図書館や市役所1号館2階の市政情報室でご覧になることができます。また、各区計画について地域等での活用を希望される方は各区役所市民部総務課までお問い合わせ下さい。

また市ではこの他にも市民や事業者の方を対象に安全で安心な住まいやまちづくりのための手引書として、「安全で安心な住まいとまちづくりのガイドブック」を作成しております。

区安全まちづくり計画をはじめとするこれらの資料については今後、地域で安全で安心なまちづくりをすすめる上で、活用していただけることを期待しています。

《 問合せ先 》

区安全加算、まちづくり計画については、各区役所市民部総務課調査係へ。

(右各区役所代表電話番号参照)

安全で安心な住まいとまちづくりのガイドブックは、市民局市民安全推進室安全企画課計画係

(322-6236)へ。

〈 各区役所代表電話番号 〉

東灘区役所(841-4131) 長田区役所(579-2311)

灘区役所(871-5101) 須磨区役所(731-4341)

中央区役所(232-4411) 垂水区役所(708-5151)

兵庫区役所(511-2111) 西区役所(929-0001)

北区役所(593-1111)

アメリカの郊外住宅事情－⑨持続可能なまちづくり（サステイナブル・コミュニティ）

アメリカは自動車依存社会であり、ドア・ツー・ドアの利点を活かした都市が形成されてきた。

ロサンゼルス都心近くの大型スーパーの話。建物は2階建て、外観は外側に窓がない倉庫のようであった。入口のドアも小さく、ガードマンが厳重に守っていた。中は外観とは完全に別世界の、明るくて、様々な商品があふれ、ゆっくりと買い物ができ、2階にはレストラン街が趣向を凝らせて作られ、安心できる空間であった。要は、車で来て、地下の駐車場に止めれば、便利で、安全な仕組みになっているのである。これがドア・ツー・ドアの利点を活かした囲い込み型のショッピングセンターである。食事の後の夜に、その建物から外に出たが、周辺に全く人影はなく、歩いて来た者としては身の危険を感じざるを得ない経験であった。

もう一つの光景を紹介する。都心のビジネスビルの入口での午後9時前の光景である。車が1台止まり、男性が2人降り、ビルから女性が2人出てきた。やがて男性の1人が小走りに姿を消したと思うと、車が1台彼らのそばに止まった。先ほどの男性が降り、代わりに女性が車に乗り、走り去った。また同じように男性が走り、同じ光景が繰り返され、やがて2人の男性だけになり、車で元の方向に去った。つまり2人の男性は、彼氏ではなく、近くの駐車場まで車を取りに行く代行サービス業であった。こんなサービス業が成り立つほど業務都心の夜の一般道路は危険であるとの印象を受けた。

ドア・ツー・ドアの便利さは、一方でその間の空間を歩かず、沿道での会話も生まれにくいことを意味する。2つの事例はその極端なものかもしれないが、車社会の行き過ぎが都市の安全で快適な生活に警鐘を鳴らしつつあるのである。

車に依存しなければ生活できない国アメリカ、交通渋滞、交通事故、環境汚染などの問題と、その利便性が逆に治安の悪化を招き、アメリカ民主主義の礎としてきたコミュニティすら崩壊させるという新たな問題を投げかけつつある。

さらに、近代の科学文明の最先端を走り、快適生活を謳歌してきたアメリカに、1992年のリオデジャネイロで開催された国連環境会議が契機となり、地球的視

点からこれまでの消費行動の継続は次世代に大きな負担を残し、かけがえのない地球を破滅に導くことになるという課題が突きつけられてきた。

これらの問題に新たな都市再生の動きが各地で生まれつつある。人間と自然とのつながりからエネルギー消費の削減による環境負荷を軽減し、車社会から訣別した人間自らの行動を重視した「何世代にわたり存続できる」サステイナブル・コミュニティ（持続可能なまちづくり）を、めざすものである。

それは、都市発展の基盤であった中心市街地や歴史文化を遺産として再評価し、愛着と誇りを持てるまちに再開発する。厳格なゾーニングで業務や商業的用途に純化するのではなく、ヨーロッパのような上層階に住宅のある混合型用途の賑わいのある、職住近接で歩行者や自転車中心の歩いていける範囲に生活に必要なものが揃うコンパクトなまち。建物、歩道、照明、街路樹のアーバンデザインを充実させ、歩行者の安全性と快適性を確保する。ポートランド市の中心部では、車に依存しない都市構造に改造し、かつて全盛であった路面電車をLRT (Light Rail Transit) として復活させ、車を規制した歩行者のためのトランジットモールとすることで、歩行者に歩く楽しさと、環境に優しいまちに再生している。



単機能の囲い込み型の経済的合理性と、車のドア・ツー・ドアの利便性を捨てることで、まちには歩行者があふれ、道路に面したカフェテラスでは夜遅くまで会話を楽しみ、かつて味わった都市生活の豊かさを再認識できる。こうしたまちづくりが、都心で、オールドタウンで、新しい開発地で進みつつある。

（神戸市都市計画局アーバンデザイン室 中山久憲）

神戸市都市整備公社からのお知らせ

○北野工房のまち

JR 阪神元町からトアロードを北へ徒歩 15 分
旧北野小学校を利用した「北野工房のまち」
神戸ブランドを「創って・見て・& 味わい体
験できる」

観光バス駐車場（21 台収容可能）を併設
テレホンサービス（078）306-5548

○神戸トアロード駐車場

平成 11 年 4 月 27 日に NHK 神戸放送局跡に 30 台収
容の有料駐車場がオープンしました。「北野工房のまち」
や異人館の散策にご利用いただけます。24 時間営業な
ので夜の北野界隈を満喫していただけます。

駐車料金

100 円/15 分（午前 8:00~午後 11:00 迄）

100 円/60 分（午後 11:00~午前 8:00 迄（深夜料金））



問い合わせ先
(財)神戸市都市
整備公社
管理課
(078)
251-8305

まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

期 間	内 容・テ ー マ	主 催 者
5月6日(木)~11日(火)	花の写真展	戸田 淳子
5月13日(木)~16日(日)	日本書道教育学会 神戸支部展	平田 栄
5月20日(木)~25日(火)	木曜会作品展（油彩・水彩画等）	木曜会
5月27日(木)~6月1日(火)	第10回 KOBE KP 展（パステル画）	KP会

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

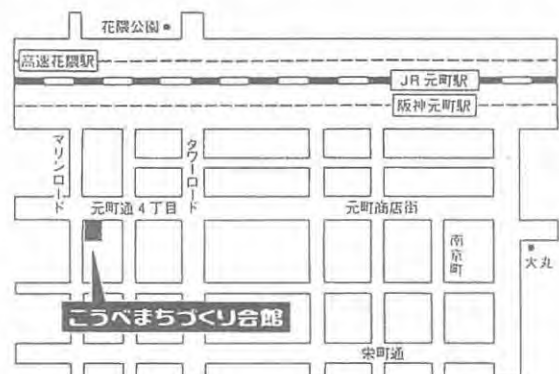
5月1日(土)~20日(木)	ハッピーパック・シルバーパックの紹介	神戸勤労福祉振興財団
5月21日(金)~6月10日(木)	源平勇者夢のあと	こうべまちづくりセンター

すまい・まちづくりのご相談は

- すまい・まちづくり人材センター
(こうべまちづくり会館 3F)
電話 078-361-4377 FAX 078-361-4584
受付は、月・火・木・金曜の午前 10 時~午後 5 時
- 祝日・土・日曜は
まちづくり相談コーナー で受け付けます
(こうべまちづくり会館 4F)
時間は、午前 10 時~午後 5 時

自治会活動などのご相談は

- コミュニティ相談センター（まちづくり会館 4F）
会報等の印刷サービスや学習会へのインストラ
クター派遣など
受付は、午前 10 時~午後 6 時
電話 078-361-4565



〒650-0022

神戸市中央区元町通 4 丁目 2-14

電話 078-361-4523

FAX 078-361-4546